医療法人社団 帰厚堂・社会福祉法人 敬愛会　合同広報誌

南昌だより

2017 No.30
2017年10月1日発行

医療法人社団　帰厚堂

【基本理念】

「愛と誠の精神」

私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします
また、
信頼される医療を提供するために
全ての専門職種による
チーム医療に万全を期します

社会福祉法人　敬愛会

【基本理念】

「地域と共に生き　地域と共に歩む」

私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします
また、
信頼される福祉サービスを提供するために
全ての専門職種による
チームケアに万全を期し
その人らしい生活が育まれるよう
支援します

2017 No.30 Contents

- 2P……巻頭言
- 3P……職場紹介
  ……スタッフ紹介
- 4P~6P ‥リハビリテーション その1
- 6P……多職種連携で口腔機能向上
- 7P……第28回全国介護老人保健施設大会
- 8P~9P ‥ケアセンター南昌
- 9P……こずかた保育園
- 10P……志和荘
  ……悠和荘
- 11P……恒和荘
- 12P……敬愛会デイサービスセンター
  ……若園荘
- 13P……敬愛荘
- 14P……ケアセンター南昌ホームページ
- 15P……看護師、その職業と卒後教育
- 16P……診療案内

医療法人社団 帰厚堂
http://www.kikodo.or.jp/

社会福祉法人 敬愛会
http://www.shiwasou.jp/

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構

サプリメント―信用しますか?

南昌病院　循環器内科部長　市川　隆

最近のＴＶを見ていると、四六時中、健康食品やサプリメントの宣伝が流れます。《私はこのサプリのおかげで元気になりました。》《膝、腰の痛みがすっかり良くなって毎日歩いています》などなど、昔の有名女優さんらが話しています。ただし、画面をよくみると【これはあくまでも個人の感想です。】と出るのを知っていますか。サプリメントは医薬品ではないので○○○に効く、ということは認められていません。あくまでも食品なのです。

しかし、宣伝の仕方が非常に巧妙で、見ているとつい買ってみようか、飲んでみようか、という気になってきます。

食品には原則として、効果の表示を認められていません。例外的に認められているのは特定保健用食品（トクホ）、栄養機能食品、機能性表示食品の３つです。

＊**特定保健用食品（トクホ）**：国が個別に許可しているもので信頼性が高い。しかし医薬品ではなく食品である。

＊**栄養機能食品**：ビタミン、ミネラルなど20成分の表示に限る。含有量などの規格を満たせば審査や届出なしで自主的に効果を表示できる。文言は所定のもののみ使用できる。たとえば“カルシウムは骨や歯の形成に必要な栄養素です”など。

＊**機能性表示食品**：国の審査がなく、企業が自己責任で表示できる。

最も信頼性の高いトクホで2016年に６品が許可取り消しになっています。かつお節オリゴペプチドを含み《血圧が高めの方に適した食品》と宣伝していた４品と、豆鼓エキスを含み《糖の吸収をおだやかにするので血糖値が気になりだした方に適した食品》とうたっていた２品です。取り消しの理由は、発売後の調査でトクホ申請時の規定の成分量を満たしていないことが判明した、ということです。許可された後のチェックをする仕組みができていなかったためです。その後の調査でこれら以外には規定に反するものはなかったとのことですが、このようないい加減な行為が行われる余地があった、というのが実情です。

アメリカでは［サプリメントは効果なし］という論文が医学誌に報告されています。結論のみを示すと“ビタミンやミネラルなどのサプリメントは健康効果がなく、十分な栄養を取っている人にはむしろ害になる可能性がある”というものです。

英国の医学誌にも“グルコサミン、コンドロイチンが関節の痛みに効く、という明確な結果は得られなかった”という報告があります。

薬物が医薬品として認められるためには多くの時間と経費がかかります。動物実験に始まり、多くの過程でその有効性、安全性が審査され、有効性が認められたものだけが医薬品として認められます。開発から発売まで10年以上の歳月を要し、実際に発売に至るものはほんの一握り、といわれています。有効性が確認されており、しかも薬価の7-9割が保険で軽減される医薬品に対して、有効性や安全性が証明されていない健康食品に高額な代金を支払い、自身の健康を任せることで本当に良いのでしょうか?

実は、サプリメントを含む健康食品といわれるものはいまや２兆円の産業になっています。しかし、原価は価格の10%以下だろう、といわれています。

有効性が証明されれば医薬品として承認されます。まだサプリメントを続けますか?

職場紹介

地域に根ざした暖かい看護サービス・安心して在宅療養できる看護

＝訪問看護ステーションやはば＝

当訪問看護ステーションは在宅看護を提供しています。看護師6名、理学療法士3名で日夜、利用者に寄り添いながら支援しています。

4歳から108歳の利用者に訪問看護を利用していただき、医療の提供、日常生活の機能が低下しないように介護相談を受けながら、自宅で生活できるようにサポートしています。病気や障害をもち療養をしながら生活している方、退院後の生活に不安のある方、重症の方や処置のある方ばかりでなく寝たきりになる心配のある方、認知症や精神的に不安のある方、家族のサポートもしながら24時間365日の体制で緊急時の対応や心配事の電話相談に応じています。

家庭で暮らしている方が安心してすごすことができるように支援しています。矢巾町、紫波町、盛岡地域をエリアとして車移動しています。春夏秋冬の自然を眺めながら利用者の住み慣れた自宅に向かっていくのは、とても楽しみでもあります。

さて、今後迫りくる2025年問題。「団塊の世代」が75歳以上となり高齢者の数が3,658万人と推計されています。2035年には3人に1人が高齢者となる見込みです。高齢者が増えることで国の政策も変化しています。福祉の充実が叫ばれていますが、なかなか国の指針は停滞しており、現在の日本の状況が良くなるには未だ時間を要します。少子高齢化を迎え、介護の現場は人材不足です。自宅での介護負担増、施設には入所できないなど悪循環になってきています。

そのため、自立できる元気なお年寄りが増えていかなければならないと感じています。病気を受け入れながら家に閉じこもることなく社会参加を多くして、明るい人生を過ごしていけたら良いと思っています。病院に長期入院できなくなった現代医療の実態をふまえ、病気を悪化させないように自宅、施設で楽しく暮らしましょう。

私たち訪問看護も地域の仲間となり、微力ながら支援させていただきます。利用者とその家族のために質の高いサービスを提供していきます。窓口は矢幅駅西口からすぐのケアセンター南昌1階、訪問看護ステーション事務所になります。明るく元気なスタッフ一同お待ちしています。

スタッフ紹介

日常的な楽しみを味わい食べたいものを！

志和荘　管理栄養士
遠藤 愛

志和荘に勤務して9年目になります管理栄養士の遠藤愛と申します。

私のモットーは『入居者様が笑顔で楽しんで生きてほしい！』です。敬老会、文化祭、春のお食事会、流しそうめん等の行事で入居者の満足を得た気持ちでしたが、ここ数年で考え方が少し変わりました。

その理由は2つあります。入居者の介護度が重症化したことと、毎年冬に感染症が流行するため、大人数で冬期に集まる事が出来なくなったことです。

介護度の重度化により食事を摂れなくなってきたり、認知症が進み目を離せない方が多くなり介護職員も苦しくなっている実状に悩んでいました。そんな時、事務次長が敷地内で採れた栗を持って来てくれました。それをあるユニットで茹でて入居者と一緒にお話をしながら食べました。「うまいなはん、昔もこうして食べたったなぁ」と話す入居者に、「あぁ、何も大きな行事だけでなく、日常的な楽しみを味わえるのがユニットケアなんだ！」と気づきました。

それからは介護職員に相談しながら、入居者が食べたい物（焼肉、お好み焼き、たこ焼き等）を作りました。また、ユニットにあるスチームコンベクションを使い、ロールケーキなども作りました。入居者にはボウルの材料を一緒に混ぜてもらいました。“てんど”の悪い私は失敗も多く、ケーキのスポンジが膨らまなかったり、たこ焼きの生地がゆる過ぎたりしました…。その度に入居者や介護職員が笑いに変えてくれ、助けられました。

地域では、矢巾町の産直と連携し、矢巾町の食材を使った『地産地消メニュー』を提供したり、悠和荘の澤里管理栄養士と寸劇を交えながら地域応援出前講座を行なったりしました。また、文化祭の外屋台では、矢巾町の出店者に協力を頂いて皆さんに喜ばれました。

まだまだ未熟者ですが、栄養ケアマネジメントや経口維持支援をしっかり行ない、様々な形で楽しく美味しい食事を提供していきたいです。

連載「リハビリテーション」その1

南昌病院は、リハビリテーション専門の病院として日々取り組んでおります。そこで、今回から「リハビリテーション」を共通のキーワードに、当院の様々な活動やその時々のトピックスなどを記事にしてまいりたいと思います。

まず第1回目は、キーワードそのものである「リハビリテーション（rehabilitation）」について理解を深めてみたいと思います。

リハビリテーションとは

リハビリテーション（rehabilitation）の語源は、ラテン語で“ふさわしい”や“適した”という意味を持つhabilis（ハビリス）という形容詞です。それに、英語で「再び」という意味を表すreを頭に、「～すること」という意味のationをお尻につけた造語だと言われます。これをひとつながりで訳せば「再びふさわしい状態にすること」あるいは「再び適した状態にすること」といった意味になります。このような成り立ちから、リハビリテーションとは「人間らしく（ふさわしく）生きる権利の回復」すなわち「全人間的復権」であると言われます。（図1, 2）そのような意味を包含する学術的な日本語訳があれば良いのですが、なかなか適した日本語訳をつけられなかったために、そのまま「リハビリテーション」というカナ表記で用いられており、現在では広く一般的に「リハビリ」という言葉が使われるようになっています。

図1　リハビリテーションの語源

•Rehabilitation

↓

•Re	habilis	ation
再び	“適した” “ふさわしい”	～すること

図2　すなわち、リハビリテーションの意味は

- 人間が人間としてふさわしくない状態にあるとき、それを再びふさわしい、望ましい状態へと立ち戻ること。
- 一人前の人間として社会に戻ること。
- 人間らしく生きる権利の回復

「全人間的復権」

リハビリテーションの分類

リハビリテーション（以下、リハ）は、大きく分類すると「医学的」、「職業的」、「社会的」、「教育的」リハビリテーションの4つに分けられます。それぞれ簡単にまとめると、「医学的リハ」は心身機能の改善や補助的な手段を活用することによって、障がい者が自立し、活動的な生活ができるようにすること。「職業的リハ」は障がい者が職を持ち、それを継続し、それによって、社会への統合・再統合を促進すること。「社会的リハ」は障がい者自身が、最大限豊かに社会参加を実現し、また、その権利を自らの力で行使する“社会生活力”を高めること。そして「教育的リハ」は障害児が教育を受け、能力を開発し、人格形成がなされ、社会の構成員になるための準備をすること。と、されます。この中で、主として病院や診療所などの医療機関（医療の領域）で行われるものが「医学的リハ」になります。

医学的リハビリテーション

病気やケガによって、身体機能の損傷や心身の機能不全が生じると、患者さんは医学的リハを受けることになります。医学的リハの基本は、機能損傷や機能不全およびその背景を医学的な立場から診断・評価し、予後予測をして治療にあたることで、急性期（早期）リハと回復期リハ、そして維持期・生活期リハに分けられます。現在では、医療機関ごとにそれぞれ特化した病床機能を持って地域内における役割分担がされており、各機関が有する機能の中で急性期リハ、回復期リハ、維持期・生活期リハが提供されます。

急性期リハから維持期・生活期リハまでの流れ

少し前までの医療においては、病気やケガなどの発症・受傷直後である急性期の時期には安静臥床が第一でした。しかし、今や、過度の安静臥床は、回復ではなくむしろ残存している心身機能の低下を招くという捉え方が常識となっています。

余談ですが、長期に寝たきり状態でいることは、宇宙のような無重力空間にいる状態に近いと言われます。宇宙飛行士が宇宙での長期滞在から地球に帰還した際、周囲のスタッフに抱えられながら記者会見場に姿を表す映像をご覧になったことはございませんか？彼らは宇宙滞在中にも毎日2時間程度の集中的なトレーニン

グを行い、その筋力はほぼ保たれているそうです。それでも、地上に降り立った時には一人で立ち上がったり、歩いたりすることが難しくなるわけです。それには、長期間に渡って無重力状態にいたことが大きく影響しているとされます。これについての詳細はまた次の機会にしたいと思いますが、いずれにしても、安静臥床は百害あって一利なしということです。ですから、現在では、脳卒中などにおいても、発症後できるだけ早期から、医学的な全身管理の下で急性期リハが開始されます。特に、「座る」、「立つ」といった、抗重力姿勢（重力に対抗して姿勢を保つこと）をとることは、可能な限り早くから行われることが重要とされ、急性期でそのようなことがしっかりと取り組まれれば、その後の回復にも大変よい影響を与えるのです。

急性期リハの後は、主として回復期病院での集中的な回復期リハとなります。この時期に、最大限の機能回復と、具体的な生活機能の獲得、基本的な生活の基盤の整備などがはかられ、維持期リハ・生活期リハへと繋がっていきます。維持期・生活期リハには、療養病床を持つ医療機関での入院リハや、受け入れ体制が整っている医療機関での外来リハ、そして、訪問リハなどがあります。

近年では、医療における維持期リハは縮小しつつあり、介護保険サービスや社会福祉サービスのリハビリテーションに移行して行きます。どの時点からという明確な線引きはできませんが、急性期からの流れで見ていくと、維持期・生活期リハに近づくほど、その中には職業的リハや、社会的（地域）リハ、教育的リハの要素が色濃くなっていきます。（図3）

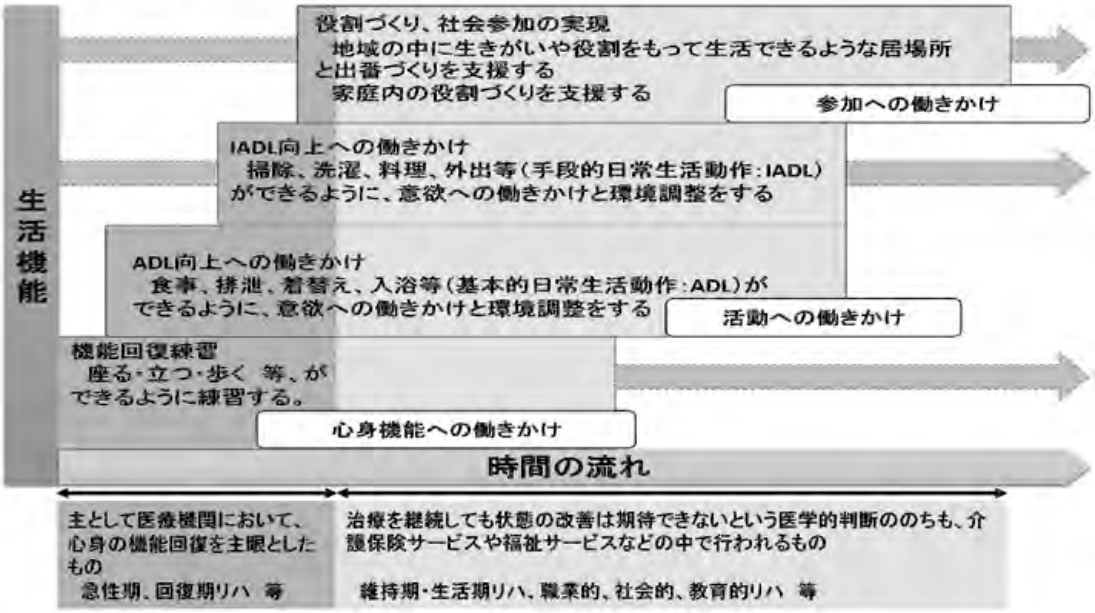
リハビリテーションの対象と目的

「リハビリテーション」の対象は、病気やケガによる身体的な運動機能の低下だけではありません。精神機能や発達の障がい、あるいは加齢などによる複合的な心身機能の低下なども対象となります。低出生体重児や脳性麻痺児、高齢者の生活不活発病、進行性の難病やがんの末期患者など、更に加えれば、病気などの前、すなわち予防の段階も含まれ、その対象範囲は広いわけです。それは、リハが病気やケガそのものだけではなく、“生活”に支障をきたしている人全てを対象とするからです。機能回復はあくまでもリハの一過程であり、リハの根本的な目的は「対象となる方が望む生活の場で、生活を再構築し、その生活の維持・向上を図る」ことです。対象となる方やそのご家族等の「こうありたい」「こうしたい」という主体的心構えが「リハビリテーション（rehabilitation）」の出発点であり、その実現のために、対象者個々人の生活機能の内容や程度、年齢や取り巻く環境の状況、目標、目的などの個別性に応じて、医学的側面だけではなく、職業的、社会的、教育的側面からも含め、そこに関わる全ての者によって、包括的に提供される、あるいは展開されるものなのです。

最後に

さて、ここまで「リハビリテーション（rehabilitation）」についてまとめてきました。一般の方がリハビリテーションと聞くと、「体を動かす」、「関節や筋肉を柔らかくする」、「痛みをとる」、「歩く練習をする」などの、いわゆる“機能回復訓練”を思い浮かべることが多いのではないでしょうか。しかし、リハビリテーションという言葉の成

図3　医学的リハから、社会的リハ等への展開のイメージ



り立ちとその意味から考えると、「機能回復訓練＝リハビリテーション（rehabilitation）ではない」と捉えるのが正しい認識ではないかと思います。「リハビリテーション（rehabilitation）」は、できなくなったことや失われたことばかりに注目するのではなく、残された能力を見つけ出し、その人にとって新しい人生を取り戻すことを支援することといえます。そして、「リハビリテーション（rehabilitation）」の主体は、いつでも対象者自身やそのご家族である。と、いうことが肝要であり、それがなければ効果的なリハビリテーションとはなりません。

最後に、今回の記事をお読みいただいた皆さんには、リハビリテーションに対する認識として、以下のようなことは**誤解**であることをご理解いただければ幸いです。

- リハビリテーションは関節の運動や筋力強化など、運動や体操のことだけをいう。
- リハビリテーションは専用の部屋だけで行うものである。
- リハビリテーションは専門の療法士だけが（に）行う（行ってもらう）ものである。
- リハビリテーションは人にやらされるもの、やってもらうものである。
- リハビリテーションは対象となる当事者だけに関わることである。
- リハビリテーションは急性期状態が安定してから行うものである。
- リハビリテーションは健康な人には関係のないことである。
- 重症患者のリハビリテーションは危険なので行ってはいけない。
- 難病やがんなどの進行性の疾患はリハビリテーションの適応外である。

ちなみに、“訓練”という言葉ですが、当院リハビリテーション科では、極力使用しないようにしております。“訓練”という言葉には「強制的にやらされること（もの）」という意味合いが強いといわれます。たかが言葉一つかも知れませんが、「強制的にやらされる」では、なんとなく対象となる方々の主体性を奪ってしまうような気がしてなりません。

～多職種連携で口腔機能向上～
全国介護老人保健施設大会　優秀奨励賞受賞

介護老人保健施設 敬愛荘
歯科衛生士　伊藤 真知子

昨年開催された「第２７回全国介護老人保健施設大会 大阪」にて敬愛荘職員の伊藤真知子歯科衛生士が発表した演題が「全国介護老人保健施設大会　愛媛」にて優秀奨励賞に選ばれました。

演題タイトルは「歯科衛生士と多職種連携による口腔機能向上の取り組み」とし、研究内容は日々のレクリエーション（以下レク）の中に機能訓練の要素を加えて取り組み、変化を評価しました。研究内容は以下の通りです。

研究期間を２ヶ月間とし、実施前後のレクの点数と、口腔乾燥、口臭等の口腔内の状況や食べこぼし、ムセ、舌の運動等の口や舌の動作項目について評価表を用いて点数の比較をしました。レクの内容は対象物を吹いて遠くへ飛ばしたり、ストローを使って対象物を吸って移動させるゲームや下や唇の動きを促し嚥下機能を保つ要素がある「ぱたから」の発話を促す為に童謡・唱歌の替え歌を作り利用者と職員が一緒に歌う活動を行いました。

実施期間中に利用者からは「声が出しやすくなった」、「ご飯が食べやすくなった」という感想が聞かれ、職員からも「食べこぼしが減った」という意見が聞かれました。研究期間中は評価や活動中に看護師、介護士、リハビリと相談、連絡を取り合いながら実施し、姿勢や声掛けの方法など協力・共有し、必要時は修正・改善しながら関わっていきました。その結果、ゲームの点数や評価項目の点数に向上が見られました。継続して利用者が参加できたのは歯科衛生士だけが関わったのではなく、看護・介護職員などの多職種が連携して関わりをもったことでレクの雰囲気作りが出来たことが考えられます。また、レクの中に機能訓練の要素を加えたことで利用者同士の競走心が生まれ、楽しみながら行えたことも大きな理由だと思います。

現在も嚥下体操や唾液腺マッサージ等を実施して口腔機能の維持・向上に努めています。多職種で関わることで、毎日継続して実施が出来ており口腔機能だけにとどまらず全身運動や離床の機会にもつながっています。

今後も歯科衛生士としての専門性を活かしながらチームケアの一員として多職種と連携し意見を出し合いながら口腔機能の維持・向上、誤嚥性肺炎の予防等に取り組み、利用者、職員の笑顔と元気な笑い声いっぱいな施設であり続けるよう頑張っていきたいと思っています。

敬愛荘では午前にリズム体操などの全身運動、午後にボーリングなどのレクを実施し、利用者が楽しく体を動かし、心身機能の維持・向上につなげられるように多職種で関わっています。

第28回全国介護老人保健施設大会 愛媛in松山 における報告

平成29年7月26日（水）～28日（金）に開催された上記の大会に出席し、ケアセンター南昌から次のとおり演題を発表しましたので報告します。

【演題】

「災害時における 岩手県災害派遣福祉チームの活動報告」

支援相談員　小泉　進

【発表の要旨】

東日本大震災時の教訓から、岩手県では平成25年に「岩手県災害派遣福祉チーム」を結成。平成28年4月の熊本地震、同年8月岩手県岩泉町での台風10号被害時にチーム員として被災地支援を行なった。熊本地震では医療法人社団「帰厚堂」及び社会福祉法人「敬愛会」職員で構成する「チーム南昌」に対し派遣依頼があり、5名が派遣された。この派遣は、全国初の都道府県による災害派遣福祉チームであった。

災害派遣福祉チーム（以下、福祉チーム）での活動を通して、避難所には福祉チームの支援が必要だと確信した。なぜならば、避難所では福祉チームと同等の役割を一定期間、継続できるマンパワーはないに等しいからである。避難生活初期に行われるべき支援の見極めや、二次被害予防のために、福祉チームは専門的視点でニーズを把握し、中～長期的支援に繋ぐ役割を担っている。

しかし現在の仕組みでは、被災県からの要請がなければ福祉チームを他県に派遣できないため、ＤＭＡＴと同等の整備が望まれる。また、大規模災害時には外部からの支援が円滑に受け入れられるシステムが必要である。

【フロアからの質問等】

問「現地に福祉避難所はあったか?あったとすれば福祉避難所との連携はどうだったのか」

答「福祉避難所は複数あった。福祉チームが活動するのは一般避難所であり、そこでの生活の継続が困難な要支援者を福祉避難所に移送するケースがあったため、そのような連携を図っていた。」

【演題】

「通所リハビリにおける集団栄養指導の 取り組みについて」

管理栄養士　阿部　理香

【発表の要旨】

当施設の、通所リハビリテーション利用者に対して、管理栄養士の直接的な介入を行えていない現状があった。そこで今回、在宅生活を送る高齢者のやせや肥満がもたらす健康障害に着目し、健康面から支援するため、集団栄養指導を行なった。

実施期間はH28年6月～12月の月1回。栄養指導は約60分とし、30分の座学とセラピストによる運動指導を30分行った。

参加者は53名。そのうち、肥満者は19名。家族の参加は21名であった。

結果、肥満者で約30%の利用者に、体重減少がみられたが、栄養指導の効果であるかは、明確ではなかった。開催回、全てに参加した人は7名のみで、全員の体重改善は、必ずしもかんばしいとは言いがたい結果であった。結果より高齢者の栄養指導では、理解力や家族要因などで現実可能な取り組みに個人差があるため、個別指導を交えた個々の対応が有効である。

【最後に】

今回の大会テーマは「坂の上に輝く一朶の白い雲～超高齢者社会のニーズにこたえられる老健を目指して～」でした。高齢化率の高い岩手県において、私たちは利用者のニーズに応えられる老健であり続けなければならないと感じました。

道後温泉

各施設から

ケアセンター南昌での主な取組みについて (H29.7～9)

ケアセンター南昌 敬老会

ケアセンター南昌の敬老会が9月9日（土）南昌ホールにおいて開催されました。数え88歳以上の方々でめでたく敬老品を受けた方は、博愛荘・敬寿荘含め66名で、最高齢者は101歳でした。来賓祝辞の後、利用者を代表して4階入所中の男性から元気にお礼の言葉が述べられました。

アトラクションは、民謡歌手漆原恵美子さん、矢巾町民謡保存会の皆さんによる民謡と踊り。開催前より楽しみにしている利用者が多く、一緒に歌ったり手踊りをしたり。また、入所者の家族による飛び入りでの民謡披露があり、場を盛り上げてくれました。入所者にとって民謡は聞きなれており、あっという間に時間が過ぎました。

いつまでも元気で、健やかにすごしていただきたいと思います。

【RUN伴2017】（DSつむぎ・GH敬寿荘・包括支援センター）

8月27日（日）RUN伴2017が開催されました。RUN伴（ランとも）とは認知症の人や家族、支援者、一般の人が少しずつリレーをしながらひとつのたすき（襷）をつなぎゴールを目指すイベントです。「認知症になっても安心して暮らしていける町」を目指し、地域に暮らす人達がお互いを知り、それぞれが考え、そして同じビジョンを描きながら繋がりあうことから始まるという考えから始まりました。

今年も、矢巾町の福祉関係者から成る“チームやはば”を結成し、メガステージユニオン盛岡南店～スーパースポーツゼビオ紫波店までの1キロをたすきで繋ぎました。ケアセンター南昌からも、グループホーム敬寿荘・デイサービスつむぎの利用者と職員が参加し一緒にゴールを目指しました。また、中継地点のやはばーくでは高橋昌造矢巾町長の激励をいただき、これまでにない盛り上がりを見せました。

今年で7年目を迎えるRUN伴、北は北海道から南は沖縄まで、日本全国のまちをオレンジ色（テーマカラー）に染めながら現在も継走しています。

【デイケア夏祭り】

屋台
- うす焼き
- かき氷
- フルーチェ
- スイカ

縁日
- 竹とんぼ
- 水笛
- 紙ふうせん
- ウォーターボール

など！

8月10日（木）毎年恒例行事、デイケア夏祭りを開催しました。今年は初の試みで、屋台・縁日を行いました。

利用者が屋台に好きなものを取りに行き、出来たての「うす焼き」や、職員が汗をかきながら作ったかき氷を「おいしい！！」と笑顔で食べていました。

利用者からは、「浴衣に着替え、普段とは違う雰囲気の職員を見れて嬉しかったし、なかなか行く事が出来ないお祭りに来れた気がして楽しかった。」との、言葉も頂いております。

利用者も職員も楽しく充実した時間を過ごす事が出来ました♫利用者からの感謝の気持ちを忘れず、これからも皆さんと楽しくリハビリが出来るようデイケア職員も頑張っていきます！！

【わんわんパトロール隊】（DSつむぎ・包括支援センター）

7月24日（月）にケアセンター玄関前広場にて、矢巾町のボランティア団体「わんわんパトロール隊」との交流会が行われました。総勢10匹のパトロール犬が飼い主さんと一緒に利用者の側に来て、触れあったり、特技を披露してくれました。

小雨で肌寒い中ではありましたが、終了後は「感激した～」との感想が聞かれました。

【マンドリンコンサート】（GH敬寿荘）

7月9日（日）に「いわて復興支援　マンドリンコンサート」が開催されマンドリン奏者3名の方が来荘されました。

敬寿荘での恒例イベントとなっていましたが、他事業所からの「聞きたい！」と言う声がたくさんあり、今年は5Fエレベーターホール前での演奏会となりました。

懐かしい歌の数々に皆さん聞入っておりました。

こずかた保育園

第5回運動会

9月9日（土）記念すべき第5回運動会は『5年目のスマイル　広げていこう　笑顔の輪』のテーマを掲げ行われました。「気球に乗ってどこまでも」の曲に乗せて、全園児が揃ってオープニングを飾りました。どの競技も一生懸命参加した子ども達は転んでも泣かずに走り、お家の人とも仲良く競技を楽しみました。

みんな金メダルを貰い、輝く笑顔いっぱいでした。

カレークッキング

8月29日（火）保育園で育てた野菜を使って、カレークッキングをしました。2歳児以上の子ども達が協力し、野菜の皮むきをしたり、包丁で切ったり、フルーチェ作りなどをしました。矢巾町更生保護女性の会の皆さんの力もお借りして、おいしいカレーが出来上がりました。

おかわりを沢山した子ども達は心もお腹も大満足でした。

保育園園児との楽しいひと時

●博愛荘・こずかた保育園合同大運動会！

8月2日（水）博愛荘・こずかた保育園合同運動会が開催されました。競技はボール送りゲーム、玉入れ、リレー、職員対抗当てはまりゲーム、園児のお遊戯など盛りだくさん。

園児たちが踊ったり跳ねたりするのを見ているだけでも微笑ましく、入所者と手を触れ合い「おばあちゃんの手あったか～い！」と言う園児もいて心も温かくなりました。

短い言葉のやり取りがあったり、涙と笑いの多いひとときでした。

●博愛荘デイケアセンターに遊びにきてくれました♪

保育園の子供達がデイケアに遊びに来てくれました。文化祭に向けて一緒に貼り絵をしたり、子供達からお遊戯や歌などを披露されました♬

可愛い子供達からの「おじいちゃん、おばあちゃん！！」の声に元気をもらい、利用者の嬉しそうな笑顔に、職員もつられて笑顔になりました。

志和荘

施設紹介　特別養護老人ホーム：常に介護が必要で自宅では介護ができない方が対象の施設です。

【流しそうめん】

7月13日（木）、流しそうめんを行いました。今年もメフォスさんに協力していただき、大きな流しそうめんの台を設置してもらいました。みなさん流れてくるそうめんを真剣に狙い、夢中になって食べていました。なかなか取れない方もいましたが「楽しかった」との感想が聞かれました。この日も暑い日でしたが流れるそうめんが会場を涼しげにしていました。

【夏祭り】

7月21日（金）、夏祭りを開催しました。南昌育成会の子供達がさんさ踊りの日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしい太鼓と踊りを披露してくれました。それに負けじと職員さんさ隊も、やや年配感はあるものの華麗に（自称）踊り、太鼓を打ち鳴らしました。入居者も踊りの輪に加わり楽しそうに踊っていました。

夏の夕暮れに何発もの花火が上がり、ご家族・地域の方と一緒に楽しいひと時を過ごしました。

【運動会】

8月3日（木）、運動会が開催されました。大好評の行事の一つで、紅白対抗での熱戦が繰り広げられました。選手宣誓を行い、まずは魚釣りレース！一匹釣り上げるために入居者と職員で集中して…なんとか一匹ゲット！！次に、パン食い競争が行われ…ヨーイドン！のかけ声で、パンまでたどり着き、かぶりつこうとするほど逃げていき（笑）車イスを押す職員も少しお手伝い（笑）最後は玉入れ合戦が行われ、ここまでは紅組が勝っていたのですが、職員レースで追い上げられ白組が逆転優勝という結果になりました。

いつも穏やかに過ごしているみなさんですが、競争となるととにかく必死。とてもいい運動とストレス発散になったようです。来年も楽しみですね。

【法人研修「メンタルヘルス」】

8月27日（日）、法人研修を開催しました。講師に『心理・臨床オフィスすがわら』の菅原憲先生をお招きし、メンタルヘルスについて詳しく教えていただきました。

特に印象に残った内容を3つご紹介します。

1、仕事で病みやすい人は、仕事に一生懸命取り組んでいる人である。
2、仕事をしている上でイラつく事もあるが、それは本気で仕事をしているからである。
3、自分が大事にされると相手の事も大事にする。

身体的にも精神的にも健康でいる事の大切さを改めて感じました。

また、相手の事を大切にすると同時に自分の事も大切にしていく事を忘れないようにしていきたいと思います。

【こずかた保育園交流会】

9月13日（水）、こずかた保育園の園児のみなさんが志和荘に来てくれました。元気いっぱいの踊りや歌を披露していただきました。手遊び歌では園児のみなさんに手を握ってもらったり、肩をさすってもらい、みなさんとても喜んでいました。なかには感動して涙を流す入居者もいて、見ていた職員も泣きそうになりました。このような交流の場がまた持てればと思います。こずかた保育園のみなさんありがとうございました。

悠和荘

施設紹介　地域密着型介護老人福祉施設：地域密着型の施設です。入所は矢巾町の方限定ですが、短期利用はどちらの方でもご利用できます。先ずはご相談を！

★敬老会★

9月16日（土）敬老会を開催しました。

4月から実行委員が集まり式典、余興、会食はどのようにしよう…等々、話し合いを重ね今年の余興は遊佐会さんさ踊りに決定。また創作サークルでは敬老会で付けるコサージュをボランティアで来て頂いているさくらの船の会の皆さんと手作りしました。

当日はピンクやブルーホワイトの素敵なコサージュを胸元に付け華やかな敬老会になりました。

皆様の益々のご健康とご長寿をお祈り申し上げます。

★口腔体操　～がんばっています～

嚥下は舌、口の周り、首などの筋肉を使い食べ物をのどに送り込み、のどを通過した食べ物をさらに食道へ送る一連の動作です。口腔体操はそのために必要な筋肉の体操です。

口腔体操を行う一番良いタイミングは食事前です。口や頬などを動かす事で唾液が良く出るようになり飲み込みやすく誤嚥を防ぐことにつながります。悠和荘でも昼食前に食堂に集まり口腔体操を行っています。

「パパパパパ…パ」「タタタタタ…タ」「パタカラ…パタカラ…」大きな声で元気よく“パタカラ体操”。

また、口腔体操は笑顔を作ることや楽しくおしゃべりすることにもつながります。良く食べ、よく笑い、楽しくおしゃべりし毎日素敵な一日を過ごせるように頑張っています。

恒和荘

施設紹介

小規模多機能型居宅介護事業所：小規模な住宅型の施設で、通いのほか、訪問、短期間の宿泊などを組み合わせて食事、入浴などの介護や支援が受けられる施設です。盛岡市在住者が対象です。

地域と笑顔の交流

8月19日（土）恒和荘・東新庄1丁目町内会合同夏祭

恒和荘の夏祭も第8回を迎えました。地域の青年部はテント設営・会場作り、後片付け、女性部には屋台担当と大変お世話になりました。利用者や家族、地域の方々、ボランティアさんら約100名が参加、祭りの楽しいひと時を過ごしました。オープニングは60年代の曲を中心にしたエレキギターの演奏。「懐かしいなあ」と言う声も多く、自然と体も動いていました。続いてお見合い大作戦と君の縄ゲームとイベントも大盛況でした。屋台には焼き鳥・やきそば・味噌こんにゃく・とうもろこし・カキ氷・和風クレープなどが並び参加者に振舞われました。また、小さいお子さん方の参加も多く、流行のミニオン釣りも賑わいました。最後は地域、花垣会20人による新庄さんさ踊りとたあたる舞で締めて頂き大変好評でした。大事な季節の行事。地域との交流をもっと進めて行きたいですし、多くの方に良い思い出を作って欲しいと思います。

9月16日（土）健寿を祝う会

ご家族やボランテイアそして地域の方々と一緒に利用者をお祝いしました。

卒寿（90歳）の方1名には花束を贈呈しました。晴れやかな表情で「ありがとうございました。大変嬉しいです」としっかりとお礼を述べていただきました。皆さんに長生きの秘訣を聞きましたら「何でも残さず食べること」「笑っている事」とのことでした。日本一と評判の高い日本民謡協会中央支部の方々の三味線演奏と唄と踊り、ゲーム、職員の余興などで盛り上がりました。どちらもアンコール続発!!

当日は職員の手作りバイキング（お赤飯・いなりずし・カツオのたたき……）を皆さんと一緒に美味しく、そして笑顔で頂きました。人気はから揚げとおはぎでした。
みなさんこれからもお元気でいてくださいね。

＊余談ですが　敬老の日は9月の第3月曜日で国民の祝日ですが9月15日が現在では老人福祉法で定める「老人の日」となっています。「敬老の日」はお祝いの日であるのに対して「老人の日」は理解や取り組みなどに対する「啓発の日」といった意味合いの違いがあるそうです。ちなみに老人福祉法では「老人」とは65歳以上と定められています

～俳優の村上弘明さん来荘～

岩手県長寿社会課の依頼にて、平成29年度「介護の仕事」魅力発進業務に係る番組の取材で、テレビや映画でお馴染みの村上弘明さんがナビゲーター役として恒和荘に来荘されました。職員一同は緊張して取材に応じましたが、利用者はいざ交流となると「ハンサムだね～」「握手して下さい」「一緒に写真撮ってください」と若い人には負けないような熱狂振りでした。

放送予定日はテレビ朝日にて11月11日（土）とのことです。

8月2日（水）防火訓練実施

中央消防署中野出張所員3名の立会いのもと、消火訓練・通報訓練・避難訓練を日中想定で実施しました。利用者12名も協力してスムーズに訓練を終えることが出来ました。消火器の位置を常に頭に入れておき、1人で初期消火を行なうのではなく、あるだけの消火器を持って初期消火を行なうこと。1度外に出たら建物内には入らないこと。火元が油の場合は、近づくと油がはねて危険なので距離をたもつことなどのアドバイスがありました。

火災だけではなく自然災害の場合の防災マニュアルの作成と言うことで、早速恒和荘防災マニュアルを作成しました。今後は内容を職員間で共有し、避難場所や災害時の連絡体制等必要な事なども共有し防災訓練を実施していくようにしたいと考えます。

♪お茶会へどうぞ♪

7月のお茶会では、地域の方々と折り紙や、カラオケをして交流しました。出来上がった作品は文化祭で展示しますのでお楽しみに～。
（お茶会は毎月第4土曜日の14時から開催しております。一緒に楽しんで下さるボランティアさんも募集しております）
※10月は網張へ紅葉狩りに行きますのでお茶会はお休みします。

一人ひとりに合った支援　リハビリテーション

専門スタッフがチームを組んで集中的にリハビリを実施

365日リハビリテーション提供（回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病床）!!
南昌病院・敬愛荘・博愛荘・訪問リハビリテーションこずかた……
リハスタッフ総勢86名（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）（ほかに臨床心理士2名）

敬愛会デイサービスセンター

施設紹介　通所介護施設：食事・入浴などの介護サービスや機能訓練が日帰りで受けられる施設です。

暑い夏を美味しく過ごしました。

デイサービスの夏は美味しい行事が盛り沢山です。利用者の皆さんに食を通して暑い夏を乗り切ってもらえるよう様々なレク活動を提供しました。

6月下旬から7月初旬には紫波農園へのリフレッシュドライブを行いました。紫波町特産のラ・フランスとブルーベリーのソフトクリームはとても好評で、眼下に見る田園風景にも皆さん喜ばれていました。

7月下旬には毎年恒例の「流しそうめん」を行いました。今年はこれまで「流しそうめん」を楽しむ機会がなかった土曜日ご利用の皆さんに参加して頂きました。夏ならではの昼食に普段よりも多めに食べる方もいて、今年の「流しそうめん」も楽しい昼食となりました。

8月中旬はおやつ作りで「枝豆」と「かき氷」を提供しました。デイサービスの畑で朝に収穫した枝豆を午前中に皆さんにもいでもらい、午後のおやつに食べてもらいました。「かき氷」はイチゴ・メロン・ブルーハワイの中からお好きな味で楽しんで頂きました。「枝豆」と「かき氷」ともに利用者の皆さんに大変好評で良い暑気払いとなりました。

■紫波農園　リフレッシュドライブ

■流しそうめん

■おやつ作り　かき氷

若園荘

施設紹介　グループホーム：認知症高齢者が共同で生活できる場（住居）で、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練が受けられる施設です。盛岡市在住者が対象です。

〈訪問診療〉

毎週火曜日が訪問診療日。また、電話は随時受け付けていただけます。

矢巾町こずかた診療所、三浦先生の訪問により日頃の体調や心配事の相談などをしています。ゆっくりじっくり話しを聴いてもらいアドバイスを受け安心して生活できています。

〈中学生職場体験受け入れ〉

仙北中学校2学年男女8名の生徒さんを迎えました。

将来には、医療・福祉の学校に進み学びたいと考えている生徒さんに、自施設を志望していただき大変有難いことでした。「この仕事をするために必要な資格は何ですか?」「働くうえで大切にしている行動は何ですか?」など真剣な質問に、私ども心を込めて一日を共に過ごしました。また是非お会いしたいと思っています。

〈盛岡東警察署 加賀野交番署長講話〉

平成29年度第3回運営推進会議（9月12日）にて市澤署長を迎え、地域の方々と防犯について勉強しました。高齢者を狙う詐欺は、1架空請求 2還付金詐欺　3オレオレ詐欺の順に多く相手の口車に乗せられ易いため、お金に関する電話は疑い直ぐに電話を切るようにと呼び掛けていました。また、夕方は高齢者の交通事故が多く反射帯装着の必要性を学びました。

〈作品づくりに頑張っています〉

季節のものを作り、リビングを飾ったり、イベントに必要な装飾の物品なども利用者さんと一緒に作っています。

●●● **若園荘行事**　10月 紅葉ドライブ／11月 寿司バイキング／12月 クリスマス会／毎月末は折り紙教室／誕生会は随時 ●●●

敬愛荘

施設紹介

介護老人保健施設：病状が安定し、リハビリに重点をおいた介護が必要な方が対象の施設です。入所等の相談は支援相談員までご連絡ください！

夕涼み会『夏の暑さを笑顔で吹き飛ばす』

7月19日に敬愛荘夕涼み会が行われました。事前の天気予報では天気が危ぶまれていましたが当日は好天に恵まれ、日差しを浴びながらの夕涼み会となりました。利用者は少し暑い中でしたが屋台での飲食や余興を楽しみながら会話を弾ませ、たくさんの笑顔を浮かべながら参加していました。屋台にはお酒類をはじめ、懐かしのわたあめや夏にピッタリのかき氷が提供されました。利用者は美味しそうにもくもくと食べたり、普段は飲めないアルコール類を飲んで「うんめぇ～なぁ～」顔を赤らめている様子がみられました。すいか割り大会では、各棟の利用者が順番にスイカを力いっぱい叩いて割ろうと頑張っていました。中には1度では我慢出来なかったのか「割れない！割れない！」と言いながら何度も何度もスイカを叩く姿もあり、それを見ていた利用者も職員も笑顔があふれていました。毎年恒例のさんさ踊りでは、大きな太鼓の音と元気な掛け声が響き渡り華麗な踊りに見入るように手拍子をしたり、振りを真似ながら踊ったりと様々な反応がありました。そして今回、職員から余興として東京音頭・炭坑節を披露させていただきました。職員の面白おかしく踊る姿や利用者も傘を持って参加して会場内には笑い声が響き、笑顔でいっぱいになりました。本当にやって良かったです。数時間の夕涼み会でしたが利用者も職員も楽しめた会になり今年も大盛況に終わりました。来年ももっとレベルアップした夕涼み会にしたいです！是非とも、家族の皆さんも遊びに来て一緒に参加して下さい！

7～9月の誕生者をお祝いする誕生会には北高田保育園、北川保育園、シルバーカラオケ同好会の皆さんが来荘され、元気な踊りや歌と笑顔を届けてくれました。また、7月24日に不来方高校音楽部の皆さんが来荘され素敵な歌声を届けてくれました。1日いっぱい感想を話て笑顔がたくさんみられました。本当にありがとうございます。来年も是非いらしてください。利用者の皆さんは毎年本当に楽しみにしています。

スタッフ募集

あなたのキャリアを活かしてみませんか！

医療福祉多機能ビル
ケアセンター南昌

矢幅駅西口正面にあるケアセンター南昌は、利便性に優れた矢巾町の中心に位置しています。センターでは診療所、介護保険事業所、保育園など13の事業を展開しています。

（採用人数）

●介護老人保健施設 博愛荘 職種：介護職員（若干名）
給与：136,000円～159,200円（月平均）
賞与：あり　年 2回
【日勤】9:00～17:45
※その他【早番・遅番・夜勤】勤務があります。
資格：ホームヘルパー2級以上

●介護老人保健施設 博愛荘 職種：入浴専従介護員（若干名）
給与：950円～1,050円（時給）
賞与：無し
【日勤】9:30～15:30　概ね1日4時間30分
資格：ホームヘルパー2級以上

●ヘルパーステーションやはば 職種：訪問・入浴介護員（若干名）
給与：142,000円～162,000円（月平均）
賞与：あり　年 2回
【日勤】8:30～17:30
資格：ホームヘルパー2級以上　普通自動車免許（AT限定可）

●訪問看護ステーションやはば 職種：看護師（若干名）
給与：217,760円～315,040円（月給）
賞与：あり　年 2回
【日勤】8:30～17:15
資格：正看護師　普通自動車運転免許（AT限定可）

※勤務形態、その他の詳細は面談の上決定いたします。お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】医療法人社団帰厚堂 南昌病院 総務課　松井　（代表）019-697-5211

ケアセンター南昌お役立ち情報

～ホームページを活用しての相談もできます！～

ケアセンター南昌のホームページが開設されており、「事業所概要」「空き状況」「お問合せ」などのコンテンツを展開しています。今回、「お問合せ」についてご紹介します。詳しいサービス内容を知りたいなど、ご質問にお答えいたしますので是非ご利用下さい！

① 主な情報

- センター長挨拶
- 総合案内
- お役立ち情報
- 想いでのアルバム
- 空き状況
- 求人情報
- アクセス
- お問合せ
- 介護について知りたい方へ

② 相談機能（お問合せ）

相談機能として「**お問合せ**」があります。詳しいサービス内容を知りたいなど、ご質問にお答えいたしますので是非ご利用下さい！

●「**お問合せ**」利用方法

①トップページのお問合せをクリックしてください。**右図赤丸**

②お問合せフォームが表示されますので、必要項目を入力してください。
※は必須項目になります。

お問合せフォーム

③近日中に担当部署より、メールまたは電話でお返事いたします。

※その他
- 携帯用ページからのお問合せも対応しております。
- 土、日、祝日は事務局がお休みのため、次の営業日以降のお返事となります。

他にも、空き状況などお役に立てる情報を掲載していきます。

http://www.ccnansyou.com

「ケアセンター南昌」で検索ください。

責任と誇りをもって看護ができる看護師であるために

南昌病院　総看護師長　　村松　洋子

●看護師という職業

あえて、原点にかえって考えてみたいと思います。

人間のたった一つしかない大切な生命に直接関わるため、真摯な態度で行なうべき厳しい職業です。

急速に、少子高齢化・多死社会の時代となって保健・医療・福祉の再構築が進められています。このような社会的ニーズに応えていくためには、なおさら厳しさが要求される職業といえます。

看護師の業務は、「医師の診療補助業務」と「看護師独自の判断業務」となっています。どちらの業務も重要ですが、後者には総合的な看護能力が要求され、自己教育力に負うところが大きいと考えます。

●卒業後教育

自己教育力に負うとはいうものの、支援体制が必要でその責任は私にあります。

基礎教育卒業後は、否応なしに看護実践力が求められるので専門の教育が必要となります。

看護職の職能団体である日本看護協会や岩手県看護協会では、受講の機会を設けていますが、いろいろな事情から参加にも制限や限界があります。

たとえば、新人や子育て中で時間的余裕がない人、高い意思があっても学習の方向性がわからない人、業務の事情などがあります。

そこで、私たち看護科院内教育委員会では、年間教育計画を立て研修会や研究発表会を行って、新卒者から経験者までの教育をおこなっています。

●病院内教育の概要

教育の中核となるのがクリニカルラダーと称する看護実践能力に応じた学習段階を設定したキャリア教育です。学習段階をⅠ～Ⅴレベルに設定し、看護の核となる実践能力・役割意識・自己教育力・研究能力・倫理・そして、管理・トピックス等々多様な企画をして研修を行なっています。

ちなみに平成28年度は、22回の研修会を行ない、参加延べ人数は、337名でした。

現場には、患者さんに発生する解決の必要な課題が多くあります。

それを一つひとつ解決していくために「研究」があり、病院内や病院外で発表する機会があります。

「研究」は、看護師の問題解決能力を高め、患者さんに発生する諸問題への対応能力になります。

どうしても欠かせない大切な学習形態で、責任感の育成にもなると考えています。

しかし、最も重要なのは人間教育だと思います。教育の根本はそこにあり忍耐強く継続していけば、将来必ず本当の意味での責任と誇りをもって看護のできる看護師が沢山育つと信じている毎日です。

●H28年度、全国発表演題5演題中から

NPO法人 日本リハ看護学会学術大会（11月27日　沖縄県名護市）

回復期リハビリ病棟看護師　　生内　朋子

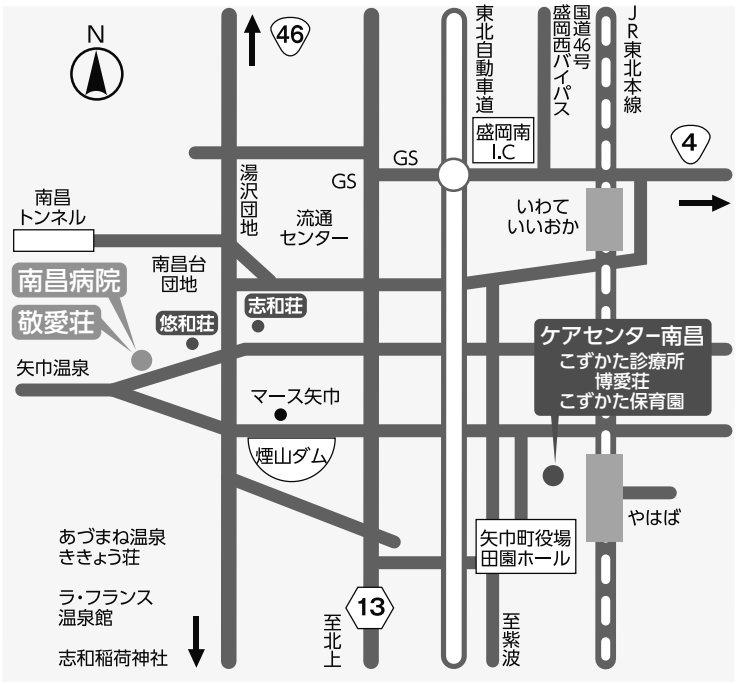
テーマ：摂食嚥下機能療法における看護師の理解向上への取り組み

内　容：脳卒中患者さんは、食物の飲み込みが傷害されるが、その理解が十分できていない看護師がいるため患者さんへの直接・間接的な援助方法について、勉強会とマニュアルの整備をした結果、経験などに左右されず適正な判断ができ療法理解が深まった。

南昌だより

■編集・発行／医療法人社団帰厚堂　〒028-3621 岩手県紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181 TEL 019-697-5211 FAX 019-697-5215
E-mail kikodo@kikodo.or.jp
■印　刷／杜陵高速印刷株式会社　〒020-0811 岩手県盛岡市川目町23-2 盛岡中央工業団地 TEL 019-651-2110

矢巾町エリア



盛岡市エリア

南昌病院診療案内

診療時間／9：15~17：00

月	神経内科	佐藤 典子
火	内　科	小原　進
火	脳神経外科 循環器内科	山口 一彦 西城 精一
木	脳神経外科	齊木　巖
金	外　科	菅野 千治

こずかた診療所診療案内

診療時間／9：00~17：30（火曜日 19：00まで）

月~金	内　科	三浦 秀悦
月・火（午前）	内　科	足澤 輝夫
木（午前）	内　科	市川　隆
金	神経内科	米澤 久司／高橋 純子

休診日：土曜・日曜・祝日

編集後記

◆今年も各地で豪雨による被害が起きました。異常気象として片付けられません。被害に遭われた方には1日も早い復旧を願っています。リハビリテーションの語源は、「再びふさわしい状態にすること」（本誌P4参照）とのこと。人間の身体は病気や高齢化によって以前のように動かすことができなったりしますが、リハビリを行なえば、以前の状態に近い状態に戻すことも可能になります。災害に遭われた方も再びふさわしい（元の）状態に早く戻れるよう祈っています。

◆「南昌だより」は今回で30号を数えました。平成22年（2010年）に創刊以来、年4回（季刊）欠かさず発行し7年半が経過しました。誌面づくりもできるだけマンネリにならないよう気を付けていますが似たような記事を繰り返すことも…。これからも旬な話題や出来るだけ内容を充実した誌面づくりに心がけて参ります。

医療法人社団 帰厚堂	■南昌病院	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181	TEL 019-697-5211	FAX 019-697-5215	
	■介護老人保健施設 敬愛荘	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181	TEL 019-697-3288	FAX 019-697-0641	
	■小規模多機能型居宅介護事業所 恒和荘	〒020-0805 盛岡市東新庄1丁目7-23	TEL 019-681-4166	FAX 019-604-1120	
	■グループホーム 若園荘	〒020-0886 盛岡市若園町8-11	TEL 019-601-5501	FAX 019-604-1660	
	■ケアセンター南昌	〒028-3614 紫波郡矢巾町又兵エ新田5-335	TEL 019-698-2015	FAX 019-611-2071	
	◆こずかた診療所	〃	TEL 019-698-3033	FAX 〃	
	○訪問リハビリテーションこずかた	〃	TEL 019-611-1380	FAX 〃	
	◆介護老人保健施設 博愛荘	〃	TEL 019-698-2015	FAX 〃	※
	◆博愛荘デイケアセンター	〃	TEL 019-697-1526	FAX 〃	
	◆デイサービスつむぎ	〃	TEL 019-698-2015	FAX 〃	※
	◆訪問看護ステーションやはば	〃	TEL 019-698-1388	FAX 〃	
	◆ヘルパーステーションやはば	〃	TEL 019-698-1385	FAX 〃	
	◆訪問入浴介護やはば	〃	TEL 019-698-1385	FAX 〃	
	◆やはば指定居宅支援事業所	〃	TEL 019-697-0537	FAX 〃	
	◆ショートステイやはば	〃	TEL 019-698-2015	FAX 〃	※
	◆グループホーム 敬寿荘	〃	TEL 019-697-9002	FAX 〃	
社会福祉法人 敬愛会	▲こずかた保育園	〃	TEL 019-698-3008	FAX 019-611-0221	
	▲矢巾町地域包括支援センター	〃	TEL 019-611-2855	FAX 019-611-2937	
	●特別養護老人ホーム 志和荘	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-100	TEL 019-697-6355	FAX 019-697-6356	
	●地域密着型介護老人福祉施設 悠和荘	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-312	TEL 019-698-1661	FAX 019-698-1671	
	●敬愛会老人ディサービスセンター	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-514	TEL 019-697-5953	FAX 019-697-7680	
	●指定居宅介護支援事業所	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-312	TEL 019-697-0880	FAX 019-698-1671	
	●矢巾町地域包括支援センター さわやかハウス相談室	〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅14-78	TEL 019-697-5570	FAX 019-697-5570	

※ケアセンター南昌代表電話